

# 補助金交付申請書

提出日を記入 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

(宛先) 春日井市長

必ず記入
該当する場合記入

補助事業者（申請者）

住所 〒 486 - 8686

春日井市鳥居松町5丁目44番地

フリガナ カスガイ ハルヨ

氏名 春日井 春代

※法人その他団体にあつては、主たる事務所の所在地、その名称及び代表者氏名

電話番号 0568-85-6216

メールアドレス [kansei@city.kasugai.lg.jp](mailto:kansei@city.kasugai.lg.jp)

法人の場合は、  
代表者氏名も記入

春日井市民間住宅省エネ改修費補助金交付要綱第7条の規定により、必要書類を添えて次のとおり補助金の交付を申請します。

## 1 対象住宅

建築物の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建て住宅	<input type="checkbox"/> 長屋又は共同住宅	どちらか
		<input type="checkbox"/> 全棟 (全 戸)	
		<input type="checkbox"/> 一部の住戸 ( 戸 / 戸)	

## 2 対象住宅の概要

所在地（地番）	春日井市 鳥居松町5丁目44番			登記事項証明書の所在欄の地名地番を記入
建物名称				(※共同住宅等の場合)
号室				(※一部の住戸の場合)
所有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 持家	<input type="checkbox"/> 賃貸住宅	どちらか	
規模	地上 2 階	地下 階		
構造	木造			
面積	(全棟) 延べ面積		m <sup>2</sup>	(※共同住宅等の場合)
	(対象住宅) 延べ面積	120.0	m <sup>2</sup>	
住宅の比率	60.0	%	(※店舗等の用途を兼ねる場合)	
建築時期	平成 ○ 年頃	(築 ○○ 年)		
建築確認取得年月日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	(※省エネ設計・改修の場合)		

### 3 補助申請内容

対象事業	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネ診断（別紙2）	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネ設計及び省エネ改修		
省エネ設計・改修の場合	改修後省エネ性能	<input type="checkbox"/> 省エネ基準相当（別紙3）	<input checked="" type="checkbox"/> ZEH水準相当（別紙4）	どちらか
	改修範囲	<input type="checkbox"/> 全体改修（省エネ基準又はZEH水準に相当する旨のBELS等の認証の添付あり）		どちらか
		<input checked="" type="checkbox"/> 部分改修（各建材・設備等が仕様規定に適合）		
工事内容	<input checked="" type="checkbox"/> 既存開口部（窓・ドア）の断熱改修	<input checked="" type="checkbox"/> 躯体等の断熱改修	該当するものすべて	
	<input type="checkbox"/> 太陽熱利用システムの設置	<input checked="" type="checkbox"/> 高断熱浴槽の設置		
	<input checked="" type="checkbox"/> 高効率給湯器の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 節湯水栓の設置		
	<input type="checkbox"/> 燃料電池の設置	<input type="checkbox"/> コージェネレーション設備の設置		
	<input type="checkbox"/> 蓄電池の設置	<input type="checkbox"/> LED照明の設置		
	<input type="checkbox"/> 省エネ設計			
	<input type="checkbox"/> 構造補強工事（ZEH水準を満たす全体改修とあわせて行う場合に限る）			
補助対象事業費	3,830,000	円	（※工事費から対象外経費及び消費税を除く）	
補助金等	利用の有無	<input type="checkbox"/> 他の補助金等を利用する	<input checked="" type="checkbox"/> 他の補助金等を利用しない	どちらか
	その他補助金等補助対象事業費		円	（※当該補助対象事業費は除く）
	その他補助金等名称		実施主体	

### 4 工事施工者

事業者名	有限会社●●●●●				
担当者名	●● ●●				
事業所在地	〒	○○○-○○○	●●●県●●●市●●●町○○-○○		
電話番号	○○○○-○○-○○○○	メールアドレス	○○○○@○○○○○○○		
工事着手予定日	令和	○年	○月	○日	（※申請日から30日目以降の日付）
工事完了予定日	令和	○年	○月	○日	（※本年度2月末日までの日付）

### 5 手続きに関する問い合わせ先 いずれか

<input type="checkbox"/>	申請者本人（上記「申請者住所等」に同じ）			
<input checked="" type="checkbox"/>	工事施工者（上記「4 工事施工者」と同じ）			
<input type="checkbox"/>	その他			
	住所	〒		
	事業者名			
	氏名			
	電話番号		メールアドレス	

## 確認書

申請者自ら確認のうえ、次の項目にチェックしてください。

補助要件	
必須	<input checked="" type="checkbox"/> 本申請書の記載内容に虚偽はありません。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の契約前です。
	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の完了実績報告書を本年度の2月末までに提出します。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者は、春日井市暴力団排除条例に規定する暴力団員ではなく、暴力団又は暴力団員と密接な関係でもありません。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者以外に対象住宅の共有者がいる場合、共有者全員の同意を得ています。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施する住宅は、現にZEH水準を満たしていません。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施する住宅は、店舗等の用に供する部分の床面積が延べ面積の2分の1未満です。
	<input checked="" type="checkbox"/> 下記の提出書類に不足がないことを確認しました。
該当時	<input checked="" type="checkbox"/> 【省エネ改修の場合】 設備の効率化に係る補助額は開口部等の断熱化に係る補助額以下となっています。
	<input checked="" type="checkbox"/> 【部分改修の場合】 複数の開口部を改修します。
	<input checked="" type="checkbox"/> 【省エネ基準相当への省エネ改修の場合】 省エネ基準に適合していない住宅及び住宅の部分について、改修を行います。
	<input type="checkbox"/> 【ZEH水準相当への省エネ改修の場合】 省エネ基準に適合していない又は省エネ基準相当の住宅及び住宅の部分について、改修を行います。
	<input type="checkbox"/> 【他の補助金を利用する場合】 補助対象事業費は重複していません。

提出書類 (共通)	
必須	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 補助金交付申請書
	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙1 確認書
	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙2、別紙3、別紙4のいずれか 内訳書
	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙5 現況写真等
	<input checked="" type="checkbox"/> 滞納がないことの証明書
	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅の登記事項証明書
	<input checked="" type="checkbox"/> 位置図
	<input checked="" type="checkbox"/> 見積書の写し(補助対象事業費とそれ以外の明細がわかるもの)
該当時	<input type="checkbox"/> 【他の補助金制度を利用する場合】 他の補助金等申請書の写し
	<input type="checkbox"/> 【補助事業者が管理組合の場合】 集会の決議を得たことを証する書類

※ 証明書は、直近3か月以内に発行されたもの(コピー不可)

提出書類 (省エネ設計・改修)	
必須	<input checked="" type="checkbox"/> 建築確認年月日及び延べ面積が分かる書類(建築確認済証の写し、台帳記載事項証明等)
	<input checked="" type="checkbox"/> 住戸図面(改修室、改修部位、補助対象建材・設備等がわかる図面)
該当時	<input type="checkbox"/> 【全体改修の場合】 BELS評価書等
	<input checked="" type="checkbox"/> 【部分改修の場合】 建材、設備等の内訳、仕様等が確認できる書類(参考様式1 仕様確認書、カタログ等)
	<input type="checkbox"/> 【昭和56年5月31日以前に着工した建物の場合】 地震に対する安全性が確認できる書類(参考様式2 耐震性能証明書)
	<input type="checkbox"/> 【一定規模以下の木造で、ZEH水準の全体改修を行う場合】 構造安全性能を証明できる書類(参考様式3 構造安全性能証明書)
	<input type="checkbox"/> 【共同住宅の共有部分(窓・ドア等)を改修する場合】 管理組合の承諾書(参考様式4 省エネ改修工事承諾書等)

※ 証明書は、直近3か月以内に発行されたもの(コピー不可)

該当する色付きセルを記入

## 内訳書 (省エネ診断)

対象建物の種類を選択

対象建物	戸建住宅	補助率	2/3
補助対象事業		費用	
診断に係る費用		20,000	円
診断のための調査に係る費用		20,000	円
BELS等の評価・認証に係る費用		50,000	円
補助対象事業費の合計(①)		90,000	円
補助金額の算定(②)	①×補助率(2/3) ※千円未満切り捨て	60,000	円
上限額(③)		120,000	円
<b>補助申請額</b>	②、③のいずれか低い額	<b>60,000</b>	<b>円</b>

該当する色付きセルを記入

内訳書 (省エネ設計・改修)

【省エネ基準相当】

対象建物		戸建住宅		改修の範囲		部分改修		補助率	2/5			
A 開口部や躯体等の断熱化に係る改修工事	既存開口部の断熱改修	窓	ガラス交換	大		枚	72,000	円/枚		円	円	
				中		枚	48,000	円/枚		円	円	
				小		枚				円	円	
			内窓設置	大	1	箇所	184,000	円/箇所	184,000	円	200,000	円
				中	1	箇所	144,000	円/箇所	144,000	円	100,000	円
				小		箇所	120,000	円/箇所		円		円
		外窓交換	大						円		円	
			中						円		円	
		ドア	大		箇所	272,000	円/箇所		円		円	
			小		箇所	240,000	円/箇所		円		円	
	既存外壁、屋根・天井、床の断熱 (使用する断熱材の区分に応じた欄に数量を記載してください。)	外壁	A-C		㎡	140,000	円/㎡		円		円	
			D-F		㎡				円		円	
		屋根・天井	A-C		㎡				円		円	
			D-F		㎡	91,000	円/㎡		円		円	
		床	A-C		㎡	184,000	円/㎡		円		円	
			D-F		㎡	276,000	円/㎡		円		円	
	Aの小計(①)			「モデル工事費」と「実際の工事費」のうち、いずれか低い額の計						284,000	円	
	B 設備の効率化に係る工事	太陽熱利用システム				式	452,000	円/戸		円	円	
		高断熱浴槽			1	式	416,000	円/戸	416,000	円	450,000	円
		高効率給湯器				式	263,000	円/戸		円	円	
節湯水栓				台	57,000	円/台		円	円			
燃料電池				台					円			
家庭用コージェネレーション設備				式					円			
蓄電池				式					円			
LED照明				式					円			
Bの小計			「モデル工事費」と「実際の工事費」のうち、いずれか低い額の計						416,000	円		
B ≤ Aに補正(②)									284,000	円		
その他 (③)	省エネ設計等に要する費用										円	
	BELS等の評価・認証に係る費用										円	
	諸経費等(諸経費等を別項目としている場合に記入)									100,000	円	
	値引き(値引きを別項目としている場合に記入)									-50,000	円	
補助対象事業費(④)			①+②+③の合計						618,000	円		
補助金額の算定(⑤)			④×補助率(2/5) ※千円未満切り捨て						247,000	円		
上限額(⑥)									300,000	円		
補助申請額			⑤、⑥のいずれか低い額						247,000	円		

※諸経費等、値引きの項目に記載する金額は、全体工事費に占める補助対象工事費の率で按分した金額となります。  
 ※消費税は補助対象工事費用に含まれませんので、補助申請額の算定には消費税を除く金額を記入してください。

該当する色付きセルを記入

内訳書 (省エネ設計・改修)

【ZEH水準相当】

対象建物		戸建住宅		改修の範囲		部分改修		補助率		4/5		
A 開口部や躯体等の断熱化に係る改修工事	既存開口部の断熱改修	窓	ガラス交換	大		枚	96,000	円/枚		円		円
				中		枚	72,000	円/枚		円		円
				小		枚				円		円
			内窓設置	大	1	箇所	248,000	円/箇所	248,000	円	200,000	円
				中	1	箇所	192,000	円/箇所	192,000	円	100,000	円
				小		箇所	160,000	円/箇所		円		円
		外窓交換	大						円		円	
			中						円		円	
		ドア	大		箇所	360,000	円/箇所		円		円	
			小		箇所	320,000	円/箇所		円		円	
	既存外壁、屋根・天井、床の断熱 (使用する断熱材の区分に応じた欄に数量を記載してください。)	外壁	A-C	2.2	m <sup>2</sup>	201,000	円/m <sup>2</sup>	442,200	円	450,000	円	
			D-F						円		円	
		屋根・天井	A-C			m <sup>2</sup>	123,000	円/m <sup>2</sup>		円		円
			D-F						円		円	
		床	A-C			m <sup>2</sup>	245,000	円/m <sup>2</sup>		円		円
			D-F			m <sup>2</sup>	368,000	円/m <sup>2</sup>		円		円
	Aの小計(①)		「モデル工事費」と「実際の工事費」のうち、いずれか低い額の計							742,200	円	
	B 設備の効率化に係る工事	太陽熱利用システム			式	452,000	円/戸		円		円	
		高断熱浴槽		1	式	416,000	円/戸	416,000	円	400,000	円	
		高効率給湯器		1	式	263,000	円/戸	263,000	円	600,000	円	
節湯水栓		1	台	57,000	円/台	57,000	円	50,000	円			
燃料電池			台						円			
家庭用コージェネレーション設備			式						円			
蓄電池		1	式					2,000,000	円			
LED照明			式						円			
Bの小計		「モデル工事費」と「実際の工事費」のうち、いずれか低い額の計							2,713,000	円		
B ≤ Aに補正(②)									742,200	円		
その他 (③)	省エネ設計等に要する費用										円	
	BELS等の評価・認証に係る費用										円	
	重量化に伴う構造補強工事(全体改修の場合のみ対象)										円	
	諸経費等(諸経費等を別項目としている場合に記入)									50,000	円	
	値引き(値引きを別項目としている場合に記入)									-20,000	円	
補助対象事業費(④)		①+②+③の合計							1,514,400	円		
補助金額の算定(⑤)		④×補助率(4/5) ※千円未満切り捨て							1,211,000	円		
上限額(⑥)									700,000	円		
補助申請額		⑤、⑥のいずれか低い額							700,000	円		

※諸経費等、値引きの項目に記載する金額は、全体工事費に占める補助対象工事費の率で按分した金額となります。  
 ※消費税は補助対象工事費用に含まれませんので、補助申請額の算定には消費税を除く金額を記入してください。

## 現況写真

### 1 工事着手前の外観写真

対象建物の全体が分かる写真を貼り付けてください。

※申請日の3か月以内に撮影した写真

撮影日： 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

建物全体が写ったカラー写真を添付してください。

## 外観写真

現像またはプリントアウトしたものをのりで貼り付けるか、  
データ上に、画像データを貼り付けてください。

## 2 工事着手前の施工箇所の写真

1 住戸ごと、施工箇所ごとに1枚作成してください。必要に応じてシートを追加してください。  
補助対象工事を行う予定の箇所ごとに、補助対象工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

部屋番号 (共同住宅等の場合)	
--------------------	--

工事種別	開口部の断熱改修工事
------	------------

施工箇所	居間
------	----

工事前の写真（全体/部分）

（撮影日：令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ）

- ・添付する写真は1シートにつき、2～4枚程度としてください（縦横どちらでも可）。
- ・それぞれの工事種別について、改修予定箇所がわかるようにしてください。
- ・カラー写真を添付してください。

### 施工前の写真（全体）

現像またはプリントアウトしたものをのりで貼り付けるか、  
データ上に、画像データを貼り付けてください。

### 施工前の写真（部分）

現像またはプリントアウトしたものをのりで貼り付けるか、  
データ上に、画像データを貼り付けてください。



仕様確認書

(部分改修を行う場合に記入してください。)

開口部 (窓及びドア)

番号 (図面と対応)	工事種別	規模			使用する製品			備考
		高さ (m)	幅 (m)	面積 (㎡)	メーカー名	製品名	製品型番	
窓①	内窓設置	2.2	1.8	3.96	〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇	〇〇	子育てエコホーム支援事業に登録 「断熱等」の性能区分B
窓②	内窓設置	1.3	1.8	2.34	〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇	〇〇	子育てエコホーム支援事業に登録 「断熱等」の性能区分A

※ 製品のカタログ等を添付すること。建材登録されている製品の場合は、備考欄に登録内容を記載すること。  
 ※ 行が不足する場合は、適宜挿入して下さい。以下同じ。

断熱材

番号 (図面と対応)	断熱材の使用部位	断熱材の区分 (A~F)	規模		熱抵抗 (㎡・K/W)	使用する製品			備考
			面積 (㎡)	厚み (mm)		メーカー名	製品名	製品型番	
外壁①	外壁	D	2.2	90	2.7	〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇	〇〇	子育てエコホーム支援事業に登録 カタログよりZEH水準適合

※ 製品のカタログ等を添付すること。建材登録されている製品の場合は、備考欄に登録内容を記載すること。

設備機器

番号 (図面と対応)	設備種別	使用する製品			備考
		メーカー名	製品名	製品型番	
①	高断熱浴槽	〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇	〇〇	
②	高効率給湯器	〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇	〇〇	
③	節湯水栓	〇〇〇〇	〇〇〇-〇〇〇	〇〇	

※ 製品のカタログ等を添付すること。設備登録されている製品の場合は、備考欄に登録内容を記載すること。

(対象建物が昭和56年5月31日以前に着工した建築物を省エネ改修する場合に記入してください。)

## 耐震性能証明書

建物名称 :

所在地 :

規模 : 地下  階、地上  階、塔屋  階

構造種別 : (木造・鉄筋コンクリート・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造)  
※該当する構造種別を囲んでください。

- 既に地震に対する安全性に係る規定に適合することが確認されている場合

上記建物の耐震性能については、「建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号）」第4条第1項の規定に基づく「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針（平成18年国土交通省告示第184号）」の「（別添）建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項」に照らし、所要の耐震性能を有していることを証明します。

なお、故意又は過失による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることを十分に理解したうえで、証明したことを確認します。

- 耐震基準を満たすための耐震改修工事を実施する場合

上記建物について、「建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号）」第4条第1項の規定に基づく「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針（平成18年国土交通省告示第184号）」の「（別添）建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項」に照らし、所要の耐震性能を有する工事を春日井市住宅省エネ改修費補助金交付要綱に基づく補助事業と同時期に実施します。

なお、完了実績報告時に、耐震性能を有した旨を別途証明します。

(一級・二級・木造) 建築士登録番号

建築士の氏名

建築士の連絡先

建築士事務所名

知事登録

所在地

連絡先

号

※1

※2

※1 当該建築物を設計することができる資格を有する者が証明し、  
建築士免許書又は建築士登録証明書の写しを添付してください。

※2 携帯電話等、日中連絡がとれる電話番号を必ず記入してください。

(対象建物が2階以下かつ床面積500㎡以下の木造住宅で、ZEH水準の全体改修を行う場合に記入してください。)

## 構造安全性能証明書

建物名称 :

所在地 :

規模 : 地下  階、地上  階、塔屋  階

- 既に構造安全性に係る以下のいずれかの基準を満たすことが確認されている場合  
 上記建物については、以下のいずれかの基準に該当しており、所要の構造安全性能を有していることを証明します。  
 なお、故意又は過失による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることを十分に理解したうえで、証明したことを確認します。
- 構造計算により構造安全性が確かめられた住宅であること
  - 壁量等基準（案）又は公布後の壁量等の基準により構造安全性が確かめられた住宅であること
  - 現行の住宅性能表示制度における耐震等級3を満たす住宅であること
  - 現行の住宅性能表示制度における耐震等級2を満たし、かつ、補助事業者に対して以下の事項の説明を行った上で同意を得た住宅であること（同意書を添付）
    - 国土交通省において、壁量等基準（案）を原案として政省令・告示等の検討を進め、パブリックコメント等の手続きを経た上で確定、交付することを予定しており、確定・交付された基準は、令和7年4月以降に建築される木造のZEH水準の住宅が満たすべき基準となること
    - 当該住宅が、上記見直しにより、見直し後の壁量等の基準を満たさなくなる可能性があること
- 構造安全性に係る以下のいずれかの基準を満たすための構造補強工事を実施する場合  
 上記建物については、所要の構造安全性能を有する工事（以下のいずれかの基準を満たすための工事）を春日井市住宅省エネ改修費補助金交付要綱に基づく補助事業とあわせて実施します。  
 なお、完了実績報告時に、構造安全性能を有した旨を別途証明します。
- 構造計算により構造安全性が確かめられた住宅であること
  - 壁量等基準（案）又は公布後の壁量等の基準により構造安全性が確かめられた住宅であること
  - 現行の住宅性能表示制度における耐震等級3を満たす住宅であること

(一級・二級・木造) 建築士登録番号

建築士の氏名

建築士の連絡先

建築士事務所名

知事登録

所在地

連絡先

※1

※2

号

※1 当該建築物を設計することができる資格を有する者が証明し、  
 建築士免許書又は建築士登録証明書の写しを添付してください。

※2 携帯電話等、日中連絡がとれる電話番号を必ず記入してください。

(宛先) 春日井市長

令和 年 月 日  
補助事業者名

## 省エネ改修工事承諾書等

春日井市住宅省エネ改修費補助金交付要綱第7条第1項に基づき申請する春日井市住宅省エネ改修促進事業補助金について、次のとおり管理組合の承諾を得ています。

また、当該改修工事等により問題が生じた場合は、私の責任において工事の変更又は原状回復をし、管理組合には一切の迷惑をかけません。

1 対象住宅	建物名称	
	部屋番号・家屋番号 (共同住宅等の場合)	
2 工事内容		
3 工事予定期間	令和 年 月 日 ~ 年 月 日	
4 工事施工者	名称	
	住所	
	電話番号	
	担当者	
5 添付書類		

## 承諾書

補助事業者(申請者)を記入

令和 年 月 日

様

貴殿より申し出のありました省エネ改修工事を承諾いたします。

管理組合の承諾を得たうえで、  
理事長の氏名を記入・押印役職  
氏名

印